

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくいろうふく

改装第34号

2008年9月15日発行

発行 福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
編集 機関紙編集委員会
発行人 吉田哲夫

労働を中心とした 福祉型社会の実現を!

第1回 労福協研究集会を開催

加がありました。集会は、労福協吉田副会長から本会の趣旨などについての開会挨拶があり、その後、講演に入りました。最初の福井県労福協馬場会長の講演からは「世界・日本の景気が下落傾向であり、労働者の生活はますます厳しくなってきている。経済的な理由による自殺者も依然として多く、生活本位の政策が喫緊の課題であり、労働運動と併せて労福協運動がますます重要になってきている。そのためには会員の皆さまの更なるご協力が必要である」との内容であった。



8月11日(月)午後2時より、あわら市において「労福協研究集会」が開催されました。この研究集会は、福井県労働者福祉協議会から57名の参加者から、福井や労働者福祉事業団体の代表者らによる講演や、労働運動と併せて労福協運動がますます重要になってきている。そのためには会員の皆さまの更なるご協力が必要である」との内容であった。

次いで中央労福協笹森会長の講演は「今求められる労福協運動」をテーマに労働運動の歴史を踏まえ、①勤労国民の暮らしに関して社会福祉運動や政策要求に取り組むこと②自主福祉活動としての暮らしサポート事業に取り組むこと③協同(福祉)事業団体の事業や活動が発展し社会的な役割を果たしている基盤を創り出すことにあるとし、「(今まで以上に)労働を中心とした福祉社会の実現を目指して取り組んで行く必要がある」との講義内容であった。最後の講演は、福井県JA中央



「これからの食糧事情を考える」

会農業対策部長 谷川元孝氏の「これからの食糧事情を考える」と題して、世界の農業と食糧事情の実態(飢餓増加、食糧暴騰など)を踏まえ、改革される日本の農業政策に対する問題点や「今後の国民の食糧のゆくえん」について、食糧自給率の向上が必要であるとの内容であった。

協研究集会



— ー 暮らしなんでも相談の結果報告 — ー

月日	会場	相談数(件)	月日	会場	相談数(件)
2008年8月23日	大野労働福祉会館(大野市)	3	2008年8月30日	男女共画センター(敦賀市)	4
2008年8月23日	勝山労働福祉会館(勝山市)	1	2008年8月31日	越前労働福祉会館(越前市)	4
2008年8月24日	坂井市高椋公民館(坂井市)	3	2008年8月31日	鯖江市禰陽会館(鯖江市)	9
2008年8月24日	北陸労金金津支店(あわら市)	6	2008年9月7日	小浜労働福祉会館(小浜市)	2

年間2回各地域(福井市を除く8市)を巡回する「暮らしなんでも相談会」出張相談は、下記の通り8月23日から9月7日にかけて開催しました(弁護士帯同) 相談数総数は32件(鯖江市が9件と最も多く、次いであわら市が6件でした。相談内容は、家庭の問題や土地・家屋の賃貸問題が多く、次いで金銭関係でした)

主催 福井県労働者福祉協議会 福井市問屋町1丁目35番地 ☎(0776)21-5929

お知らせ 9月25日より 第58回福井県 勤労者美術展開催

●会期 2008年9月25日(木)～9月28日(日)
●会場 福井県立美術館(福井市文京3丁目16-1)
●開館時間 午前9時～午後5時(無料)
●出品 絵画・書道・写真の3部門(計300点以上)
●主催 福井県労働者福祉協議会、福井県労働者福祉基金協会、福井県後援 福井県市長会、福井県町村会、日本労組総連合会福井県連合会、北陸労働金庫、全労済福井県本部、県民生活協同組合、福井県労働者信用基金協会、福井県労働者旅行センター、福井県ろうきん友の会中央会、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC福井放送



※その他詳細は労福協へ問い合わせ下さい。

2008年度 労福協世界遺産 見聞ツアーのご案内

第3回労福協幹事会において、今年度の見聞ツアーは「韓国・ソウル周辺の世界遺産」に決定しました。旅行内容は次の通りです。皆様方からご参加をお待ちしています

- 旅行期間 2008年11月21日(金)～11月23日(日)
- 旅行日数 世界見聞韓国・ソウルとその近郊の世界遺産を訪ねる3日間
- 航空会社 大韓航空機利用(予定)
- ホテル ロイヤルホテルまたは同等クラス
- 募集人員 20名様以上
- 旅行費用 お一人様 108,000円 (20名様以上の試算)
- 旅行費用に含まれるもの
 - ①エコノミークラス航空運賃
 - ②左記①以外の利用交通機関の運賃
 - ③食事代(朝2、昼2、夕2)
 - ④燃油サーチャージ(約7,200円)
 - ⑤ホテル代(2人1部屋)
- その他、詳細については、ユニオントラベル 福井までお問合せ下さい。
- *お申込先は、福井県労福協またはユニオントラベル福井です。



商品事故発生時に備え、24時間・365日の受付体制を整えます

商品事故 緊急ダイヤルの設置

9月16日スタート

このような時には
生協商品で事故やトラブル発生

●コールセンター
0120-016-165

●緊急ダイヤル
0120-076-111

県民せいきよう <http://www.fukui.coop/>

期間中、忘年会を当社にお申し込みいただいたグループに抽選で当社旅行券をプレゼント!!

■抽選日および抽選方法
出発前、お人数などが確定したときに、幹事様にスピードくじを引いていただき決定します。

ちよっぴりプレゼント

期間中、忘年会をご利用いただいたグループお一人様に当たり缶ビール(350ml)1缶をもらってプレゼントさせていただきます。

ユニオントラベル福井

1等 ユニオン旅行券 3万円分……2組様
2等 ユニオン旅行券2万円分……3組様
3等 ユニオン旅行券1万円分 10組様



<ろうきん>と言えば、自動車ローン! 金利を大幅に引き下げました!

<2008年生活応援>

2008年9月16日 ~ 2008年12月31日



くるま自慢特別優遇キャンペーン実施中!

キャンペーン期間中、変動の基準金利より、年0.625%特別優遇!

無担保
変動金利

年

1.90%

(キャンペーン最優遇金利)

2.60%

(キャンペーン基準金利)

★繰上返済手数料は、無料です!

※返済条件を変更された場合、別途手数料が必要となります。

※別途、保証料(年0.5%または年1.4%)が必要です。

※別途、固定金利もございます。

※上記金利は、2008年9月16日現在適用中。

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

★融資金利優遇制度に「エコカー」を追加しました!
「電気自動車・ハイブリッド自動車」をご購入の方は…

0.1%金利優遇!

※型式の記載された注文書、契約書等をご提出いただけます。

※融資金利優遇制度の優遇金利幅は、最大0.7%までとさせていただきます。

※融資金利優遇制度等、詳しくはもよりの<ろうきん>までお問合せ下さい。

【自動車ローン「くるま自慢」概要】

■ご融資額 最高 500 万円

■ご返済期間 最長 10 年

■ご返済方法 毎月返済又は、毎月返済・ボーナス返済の併用

北陸ろうきん

ホームページで最新情報をお届けしています。
<http://hokuriku.rokin.or.jp>

全労済からのお知らせ!!

自然災害保障付 充実保障で安心です!

火災を中心をしっかり備えたい!

火災共済

火災・落雷などに備え、ご加入者の皆さまの大切な住まいと家財を守ります。553万円の加入件数は、その実績と安心感の証です。

火災などのケース
落雷・他人の住居からの水漏れ・車両の飛び込みなどを安心

最高保障額 **6,000万円**

風水害などのケース
突風・暴風雨・豪雨・洪水・雪害・高波など

最高保障額 **300万円**

地震・風水害から盗難まで幅広く備えたい!

自然災害共済

近年、身近に起こっている地震・風水害・火山の噴火などの自然災害から暮らしを守る共済です。盗難による損害も保障されます。

風水害などのケース
突風・暴風雨・豪雨・洪水・雪害・高波など

最高保障額 **3,000万円**

地震などのケース
火災・地震

最高保障額 **1,200万円**

火災共済と組み合わせて安心!

火災・落雷・盗難、風水害等に 最高保障額より貸主へ賠償責任を負った場合 **4,000万円**

借家人賠償責任特約

お問合せは 全労済福井県本部 0776-26-6186 まで

●自然災害共済、借家人賠償責任特約は、火災共済に追加してご加入いただく保障です。 ●このチラシは制度の概要を説明したものです。ご契約の際は「(シフレット)「ご契約のてびき」」を必ずご覧ください。

「人間らしい生活と労働の保障を求めて、つながるウー」

反一貧困 全国2008年キャラバン

福井で街宣活動

この不安定で苦しい世の中を変えていこう! 貧困に関連するさまざまな問題に取り組んでいる、生活保護問題対策全国会議(主催者:代表幹事 尾藤廣喜弁護士)は、7月12日より「反一貧困」全国キャラバン活動(キャラバンカーにて全国縦断:スタート地点 福岡と埼玉の2ルート)を展開しています。

*東ルート:埼玉(7/12) 北海道 東北各県 北陸(富山・石川・福井) 中部(各県) 東京(10/19) 去る9月8日には石川県から福井県にキャラバンカーが到着、翌9日の早朝、福井駅西口・東口周辺において、キャラバン隊を組織し、ピラなどの配布やキャラバンカーによる街宣活動を行いました(写真参照)。活動のメンバーは、福井司法書士会や県労協及びその構成組織(連合福井、労金、全労済、労信協)と福井弁護士会の方々(総勢28名)で活動をおこないました。

その後、全国キャラバンの県責任者である永田廣次司法書士(関係者含む)は、福井県や福井市・敦賀市などの自治体に対して、県・市民の生活底上げを実現できることを求める「要請書」を提出するとともにマスコミからも取り上げられ、一般県民の方々にも広くアピールされました。

9月12日からは中部・東海各県・南関東を巡回し、10月19日はゴール地点の東京明治公園で集会が行われる予定です。

この貧困の問題は、さまざまな要因があります。今回の全国キャラバンではナショナルミニマムである「生活保護基準の引き下げ阻止」を獲得目標とし、各地で賛同する市民団体等が「反一貧困」のネットワークをつくることを目指しています。メインスローガンの通り「誰もが人間らしい生活と労働の保障を求めて、労働組合や福祉、市民団体・NPOなどと相互連携した運動展開」が重要であり、「新たな世直し運動」の契機といたしましょう。

- ◆主催/生活保護問題対策全国会議(福井県責任者 永田廣次司法書士)
- ◆共催/人間らしい労働と生活を求める連絡会議 (通称:生活底上げ会議)
- ◆全国クレジット・サラ金問題対策協議会、高金利引き下げ全国連絡会、全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会
- ◆後援/福井県労働者福祉協議会、福井弁護士会



主な相談内容(1年間:分類別)

- 金銭・財産**
多重債務の相談が圧倒的に多く、住宅ローンを返済している方もあり、相談時点で、生活困窮者となっている方がほとんどであった。独身の方が目立つが、夫婦とも多重債務になっているケースも珍しくない。また配偶者(夫)の収入減少により、妻が多重債務者に陥ったケースも見受けられた。短期間で数件のクレジット契約(次々販売・契約)により、返済困難となったケースや多額の保証債務を背負った相談もあった。
- 生活全般**
くらしに係わるため多岐にわたるさまざまな相談があった。一例をあげると、家庭内問題や人間(対人)関係の問題、子ども・老人の問題。また生活苦(借金絡み)で将来不安(生活保護の関係もあり)。貸家、借家などの問題(土地絡みも含む)⇒貸手側、借手側から(家賃又は退去)。契約(消費貸借:取引)関係。交通事故トラブル相談など。その他、問い合わせ的な内容や想定外の相談もあった。*弁護士との法律相談は15件で、他機関への取次ぎも多数行いました。
- 労働問題**
①就業規則関連 ②解雇・リストラ ③賃金 ④雇用・労災保険 ⑤社会保険・関連 ⑥有給休暇 ⑦組織相談 ⑧退職金 ⑨サービス残業などなど
上記区分の相談では、就業規則関係が全体の20%。次いで解雇・リストラ、賃金関係の順となっている。正規・非正規等の区分では、非正規社員からの相談が75%(正規25%)であった。就業環境(形態)の悪化が裏づけされている。
- 社会保障・税金&会計など**
①社会保険制度に関すること(年金・扶養・医療等…後期高齢者、高額医療費の請求) ②組合会計・税務処理 ③個人の所得関係や確定申告等々(所得税、扶養控除)

「ライフサポート センター福井」の概況報告

本年8月6日時点で、新設して1年が過ぎました。オープン(昨年8月6日)から1年間(2008年8月5日まで期間)の相談総数は、463件と多くの相談が寄せられました。(電話293件、来所170件)

なお、専門家等への取次ぎは84件。内訳 弁護士15件、司法書士34件、福祉事業団体等(労金、全労済、県民生協、県消費者センター、社協、県労働委員会、社労士県委託機関等) 35件。

今後においても、相談者の相談内容をじっくりお聞きする中で、問題点を整理し、ベストな解決策を考えてまいります。具体的には、解消するための方法をアドバイスしていくことや、必要に応じて専門家(弁護士・司法書士等)・労働福祉事業団体や行政サービス機関などのネットワークを活用(ワンストップサービス)するなどして、問題解消に努めてまいります。